

## 平成30年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年12月1日

上場会社名 株式会社伊藤園 上場取引所 東  
 コード番号 2593 URL <http://www.itoen.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本庄 大介  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 平田 篤 (TEL) 03-5371-7197  
 四半期報告書提出予定日 平成29年12月8日 配当支払開始予定日 平成30年1月15日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成30年4月期第2四半期の連結業績（平成29年5月1日～平成29年10月31日）

（1）連結経営成績（累計） （%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第2四半期	265,883	3.0	14,496	1.2	14,603	7.9	9,246	3.6
29年4月期第2四半期	258,083	2.1	14,324	43.0	13,531	37.5	8,923	56.4

（注）包括利益 30年4月期第2四半期 10,398百万円（52.0%） 29年4月期第2四半期 6,840百万円（12.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第2四半期	74.11	73.92
29年4月期第2四半期	71.27	71.09

（注）上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年4月期第2四半期	304,256	144,315	47.1
29年4月期	302,405	136,709	44.8

（参考）自己資本 30年4月期第2四半期 143,192百万円 29年4月期 135,520百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期	—	20.00	—	20.00	40.00
30年4月期	—	20.00	—	—	—
30年4月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注）上記の配当の状況は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る配当の状況については、以下（参考）をご覧ください。

### 3. 平成30年4月期の連結業績予想（平成29年5月1日～平成30年4月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	492,500	3.5	22,600	3.8	22,000	2.2	14,000	2.2	111.55

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注）上記の連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年4月期2Q	89,212,380株	29年4月期	89,212,380株
② 期末自己株式数	30年4月期2Q	504,689株	29年4月期	519,379株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年4月期2Q	88,699,004株	29年4月期2Q	88,677,462株

(注) 上記の発行済株式数は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については、以下（参考）をご覧ください。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る1株当たり情報(累計)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第2四半期	79.11	78.92
29年4月期第2四半期	76.27	76.09

(2) 第1種優先株式に係る配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期	—	25.00	—	25.00	50.00
30年4月期	—	25.00			
30年4月期(予想)			—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(3) 第1種優先株式に係る連結業績予想の1株当たり情報

	1株当たり当期純利益
	円 銭
通期	121.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

(4) 第1種優先株式に係る発行済株式数

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年4月期2Q 34,246,962株 29年4月期 34,246,962株

② 期末自己株式数

30年4月期2Q 464,508株 29年4月期 459,928株

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年4月期2Q 33,784,288株 29年4月期2Q 34,135,053株

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるものの、企業収益や雇用・所得環境の改善の効果もあり、緩やかな回復基調が続いております。

飲料業界におきましては、消費者マインドに回復の兆しが見られるものの、競合各社による激しい販売競争により、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当社グループを取り巻く全てのお客様に対し「お客様が今でもなお何を不満に思っているか」を常に考え、グループ一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,658億83百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益144億96百万円（前年同期比1.2%増）、経常利益146億3百万円（前年同期比7.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、92億46百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

売上高	2,658億83百万円（前期比3.0%増）
営業利益	144億96百万円（前期比1.2%増）
経常利益	146億3百万円（前期比7.9%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	92億46百万円（前期比3.6%増）

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### <リーフ・ドリンク関連事業>

国内においては、茶葉（リーフ）製品につきまして、30年ぶりとなるリーフ（ティーバッグ）製品のテレビCMを放映し、日本茶ティーバッグのさまざまな楽しみ方をお伝えいたしました。また、豊臣秀吉が京都・北野天満宮にて大茶会を開催し、多くの人にお茶を広めた日として、10月1日を「日本茶の日」と当社が制定し、この日に合わせ、当社社員などによるお茶のさまざまなおいしさ、楽しみ方をお伝えする「簡単わくわく大茶会」を全国の量販店などで開催いたしました。このような活動を通して、日本茶リーフ市場の更なる活性化を図ってまいります。

飲料（ドリンク）製品につきましては、主力製品であります「お〜いお茶」において、従来よりも鮮度にこだわり、旨みや甘みといったお茶のおいしいところだけを抽出することで、まろやかなおいしさと香りを一層引き立たせました。当社グループでは「茶産地育成事業」を推進しており、特に九州地方において、耕作放棄地などを積極的に活用して大規模な茶園を造成し、生産性と環境保全を両立した大規模茶園経営のもと、高品質な国産緑茶原料の安定調達を実現しております。本年におきまして、新たに佐賀県（太良地区）での展開を開始いたしました。この「茶産地育成事業」を通じて、栽培から加工まで鮮度にこだわって開発した「お〜いお茶専用茶葉」を使用し、急須で入れたお茶本来の香りとおいしさを追求するとともに、今後も更なるブランド価値向上を図ってまいります。

日本茶・健康茶・中国茶飲料におきましては、ノンカフェイン茶系飲料No.1である「健康ミネラルむぎ茶」が、年間を通して、おいしくミネラルと水分補給ができる商品として、好調に推移しております。

コーヒー飲料におきましては、「TULLY'S COFFEE」ブランドシリーズがボトル缶コーヒー市場を牽引する存在として、引き続きご好評をいただいております。

販売活動を取り巻く厳しい経営環境において、主力ブランドの販売強化、更なる原価低減、費用対効果を意識した販売促進費の更なる管理強化、エリア毎の業績管理強化を行い、引き続き収益性の改善に努めてまいります。

チチヤス(株)においては、広島県を中心とした乳類および発酵乳等の積極的な販売に加え、当社との共同開発によるブランドシナジーを拡大しております。また、ネオス(株)は、西日本に強い販売チャネルを持っており、当社グループの自動販売機事業に関して、継続的に収益性を高める基盤づくりを行っております。

海外においては、茶葉（リーフ）製品につきまして、「グローバルブランド」で展開する「MATCHA GREEN TEA」の販売により、米国、豪州、東南アジアを中心に積極的な海外展開を行ってまいりました。

飲料（ドリンク）製品につきましては、ITO EN(North America)INC. において、和食や抹茶の世界的ブームや健康志向の高まりを背景に、「お〜いお茶」などの無糖茶飲料が順調に売上を伸ばしております。また、米国を中心にコーヒー豆の栽培から販売までを行うDistant Lands Trading Company, Inc. においては、主要顧客であるフードサービスチェーンへの当社グループ製品の販売など、引き続きシナジー効果を追求してまいります。

この結果、リーフ・ドリンク関連事業の売上高は2,465億64百万円（前年同期比2.6%増）となり、営業利益は129億48百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

<飲食関連事業>

タリーズコーヒージャパン(株)におきましては、シーズナルドリンク「キャラメルパンブキンラテ」などによりエスプレッソ系ドリンクが好調なことに加え、パスタなどのデリカ類やパンケーキ類につきましても、ご好評をいただいております。また、新規出店も順調に進み、総店舗数は692店舗になりました。

引き続き積極的な投資とあわせて既存店舗の改装などによる活性化を図り、店舗競争力を強化することで、スペシャルティコーヒESHOPとしての更なるブランド強化を図ってまいります。

この結果、飲食関連事業の売上高は159億18百万円（前年同期比6.6%増）となり、営業利益は16億55百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

<その他>

売上高は33億99百万円（前年同期比18.3%増）となり、営業利益は5億20百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりであります。

(イ) 資産

総資産は3,042億56百万円となり、前連結会計年度末と比較して18億50百万円増加いたしました。主な変動要因といたしましては、「現金及び預金」が22億4百万円減少、「受取手形及び売掛金」が9億53百万円増加、有形固定資産の「その他」が自動販売機の取得などにより32億8百万円増加したことによるものです。

(ロ) 負債

負債は1,599億40百万円となり、前連結会計年度末と比較して57億55百万円減少いたしました。主な変動要因といたしましては、「支払手形及び買掛金」が52億90百万円減少、「未払費用」が8億62百万円増加、「リース債務」が29億49百万円減少したことによるものです。

(ハ) 純資産

純資産は1,443億15百万円となり、前連結会計年度末と比較して76億5百万円増加いたしました。主な変動要因といたしましては、「利益剰余金」が「親会社株主に帰属する四半期純利益」により92億46百万円増加し、「剰余金の配当」により26億18百万円減少したことによるものです。

(ニ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、112億46百万円の収入（前年同期は158億17百万円の収入）となりました。主な要因といたしましては、増加要因として税金等調整前四半期純利益143億76百万円、減価償却費65億23百万円に対して、減少要因としてたな卸資産の増加11億90百万円、仕入債務の減少53億28百万円があったことによるものです。

(ホ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、57億74百万円の支出（前年同期は44億5百万円の支出）となりました。主な要因といたしましては、設備投資による支出51億9百万円があったことによるものです。

(ヘ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、81億7百万円の支出（前年同期は81億36百万円の支出）となりました。主な要因といたしましては、ファイナンス・リース債務の返済による支出46億25百万円、配当金の支払26億17百万円があったことによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して24億30百万円減少し、617億71百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境等を踏まえ、今回見直しをせず据え置いております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	64,202	61,998
受取手形及び売掛金	54,677	55,630
商品及び製品	30,718	31,303
原材料及び貯蔵品	7,181	7,859
その他	17,978	18,407
貸倒引当金	△99	△61
流動資産合計	174,657	175,138
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,987	21,241
土地	21,587	21,616
リース資産(純額)	27,889	26,060
その他(純額)	12,574	15,783
有形固定資産合計	83,039	84,702
無形固定資産		
のれん	18,371	17,517
その他	6,082	5,643
無形固定資産合計	24,454	23,160
投資その他の資産		
その他	20,540	21,539
貸倒引当金	△285	△285
投資その他の資産合計	20,254	21,254
固定資産合計	127,748	129,117
資産合計	302,405	304,256
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,061	27,771
短期借入金	2,364	2,465
リース債務	8,995	7,952
未払費用	25,297	26,160
未払法人税等	4,490	5,292
賞与引当金	3,549	3,461
その他	3,802	4,827
流動負債合計	81,560	77,931
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	47,433	46,689
リース債務	13,468	11,560
退職給付に係る負債	9,455	9,693
その他	3,778	4,065
固定負債合計	84,135	82,009
負債合計	165,696	159,940

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,912	19,912
資本剰余金	18,644	18,641
利益剰余金	102,750	109,378
自己株式	△1,983	△1,961
株主資本合計	139,323	145,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,133	2,893
繰延ヘッジ損益	—	0
土地再評価差額金	△6,053	△6,053
為替換算調整勘定	747	953
退職給付に係る調整累計額	△629	△571
その他の包括利益累計額合計	△3,802	△2,777
新株予約権	66	68
非支配株主持分	1,122	1,054
純資産合計	136,709	144,315
負債純資産合計	302,405	304,256

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
売上高	258,083	265,883
売上原価	136,886	139,644
売上総利益	121,196	126,238
販売費及び一般管理費	106,871	111,742
営業利益	14,324	14,496
営業外収益		
受取利息	21	25
受取配当金	40	42
為替差益	—	217
持分法による投資利益	52	81
その他	291	287
営業外収益合計	406	654
営業外費用		
支払利息	463	355
為替差損	556	—
その他	180	191
営業外費用合計	1,200	547
経常利益	13,531	14,603
特別利益		
固定資産売却益	10	8
固定資産受贈益	—	23
投資有価証券売却益	—	0
その他	0	0
特別利益合計	10	33
特別損失		
固定資産廃棄損	14	22
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	0	—
減損損失	141	237
災害による損失	32	—
その他	3	—
特別損失合計	192	260
税金等調整前四半期純利益	13,349	14,376
法人税等	4,258	5,026
四半期純利益	9,090	9,349
非支配株主に帰属する四半期純利益	167	103
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,923	9,246

## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年5月1日 至 平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年5月1日 至 平成29年10月31日)
四半期純利益	9,090	9,349
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50	694
繰延ヘッジ損益	45	0
為替換算調整勘定	△2,281	230
退職給付に係る調整額	66	58
持分法適用会社に対する持分相当額	△30	64
その他の包括利益合計	△2,250	1,049
四半期包括利益	6,840	10,398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,755	10,271
非支配株主に係る四半期包括利益	84	127

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	13,349	14,376
減価償却費	6,063	6,523
減損損失	141	237
のれん償却額	874	889
賞与引当金の増減額(△は減少)	320	△87
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	322	322
受取利息及び受取配当金	△61	△68
支払利息	463	355
為替差損益(△は益)	544	△230
投資有価証券評価損益(△は益)	0	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,388	△880
たな卸資産の増減額(△は増加)	389	△1,190
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,321	△44
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,697	△5,328
未払消費税等の増減額(△は減少)	△605	323
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,930	651
その他	70	△188
小計	20,038	15,660
利息及び配当金の受取額	55	71
利息の支払額	△464	△357
法人税等の支払額	△3,811	△4,128
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,817	11,246
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△4,469	△5,109
投資その他の資産の増減額(△は増加)	64	△664
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,405	△5,774
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	56	117
長期借入金の返済による支出	△185	△766
自己株式の取得による支出	△7	△10
自己株式の処分による収入	0	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,291	△4,625
配当金の支払額	△2,622	△2,617
非支配株主への配当金の支払額	△75	△195
その他の支出	△10	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,136	△8,107
現金及び現金同等物に係る換算差額	△509	203
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,766	△2,430
現金及び現金同等物の期首残高	53,259	64,202
現金及び現金同等物の四半期末残高	56,026	61,771

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## (税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成28年10月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ドリンク 関連事業	飲食関連 事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	240,279	14,928	2,875	258,083	—	258,083
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	194	9	1,333	1,536	△1,536	—
計	240,474	14,937	4,208	259,620	△1,536	258,083
セグメント利益	12,833	1,691	430	14,955	△630	14,324

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△735百万円、セグメント間取引104百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年5月1日至平成29年10月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ドリンク 関連事業	飲食関連 事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	246,564	15,918	3,399	265,883	—	265,883
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	193	9	1,536	1,740	△1,740	—
計	246,758	15,928	4,936	267,624	△1,740	265,883
セグメント利益	12,948	1,655	520	15,124	△628	14,496

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△748百万円、セグメント間取引119百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。